

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ南万騎が原園	種別：認可保育所
代表者氏名：塚本志保	定員（利用人数）：60名（利用者60名）
所在地：〒241-0835 横浜市旭区柏町127 KNOCKSみなまきみらい1階	
TEL：045-367-7771	ホームページ： https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_107.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：14名
専門職員	園長（常勤1名） 主任（常勤1名）
	保育士（常勤9名、非常勤11名） 栄養士（常勤1名、非常勤2名）
	調理員（非常勤1名）
施設・設備の概要	保育室：6室 トイレ：子ども用3ヶ所、 大人用2ヶ所
	遊戯室：1室 沐浴室：1室
	調理室：1室 事務室：1室
	園庭：有（屋上） 駐輪場：10台
	バギー庫

③ 理念・基本方針

【経営理念】	子ども達の未来のために
【保育理念】	豊かに生きる力を育てる
【保育目標】	自分の考えを表現する子 ひとの気持ちがわかるやさしい子 好奇心、探求心をもって何でもチャレンジする子
【保育方針】	一人ひとりの思いを受け止め共感する 安心して挑戦できる環境を整える あそびを通して様々なものに触れ子どもの発見に気づく
一人ひとりの子どもがかけがえのない人生を豊かに歩んでいけるように、そのスタートである乳幼児期を「愛おしい存在」として認められ、その「命」を守られ「心地良く生き生きと生きる」ことは最も重要であると考えています。 子どもの気持ち尊重し受け止め認めることで、子どもは「自己」を十分に発揮し周りの人への信頼が育ち「自分は大切な存在」であることを感じ取り、「自分を大切にし」「人を大切にする」という人として大切な感情が育つと考えています。	

③ 施設・事業所の特徴的な取組

グローバルキッズ南万騎が原園は、相模鉄道いずみ野線南万騎が原駅から徒歩1分の6階建てのマンションの1階にあります。駅から徒歩1分、専用駐輪場10台、送迎用

のバギーが保管できるバギー庫もあり、保護者の方が利用しやすい環境になっています。園舎はレンガ調の玄関ホールをぬけると長い廊下あり、相鉄線の横浜駅から終点までの各駅名が、実際の距離を縮小した形で並び子ども達にも人気です。地域資源にも恵まれており、自然が多く、近隣には大小様々な公園が点在しています。目的に合わせて公園を選んだり、四季折々の自然に触れながら五感を使って戸外活動を楽しんでいます。また幼児クラスは長距離散歩に行くなど、体力づくりにもはげんでいます。4、5歳児クラスになると隣接している学童クラブでの体操教室参加も楽しみの一つとなっています。食育にも力をいれており、幼児クラスは野菜の栽培をしたり、簡単なクッキングをして調理の職員との連携も深めています。乳児クラスもいろいろな野菜を使いスタンプ遊びをしたり、食材の野菜に触れるなど食への興味が持てるようにしています。地域との関わりを大切にしており、七夕の笹を分けていただいたり、ハロウィンなどの行事では近隣の商業施設との交流もあります。月1回のホール開放も地域の子育て中のご家庭に好評をいただいています。園内研修やチームビルディングを行い、保育の質を高め、子どもが主体となって遊び込める環境を作れるように努めています。そして、職員全員が意見を出し合える雰囲気を作り、働きやすく風通しが良い園を目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日）～ 令和6年1月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2020年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)一人ひとりの子どもの思いを受け止め、丁寧な保育を心がけています
 保育士は子どもの発達段階や状況を理解し、子どもの思いを十分に受け止め、自分でやってみようとする気持ちを大切にしています。出来たことは褒めて自己肯定感につなげることを心がけています。担任保育士は一人ひとりの子どもの姿や気持ちをきめ細やかに観察し、日誌に詳細に記録しています。保育内容に関して毎日自己評価を行い、課題を挙げて、丁寧な保育を心がけています。

2)豊かな地域資源を活用し、健やかに伸び伸び育つ保育を実践しています
 できる限り戸外で自然に触れながら遊ぶ時間を確保しています。近隣のこども自然公園には動物ふれあい広場、アスレチックなどがあり十分に体を動かせる環境が整っています。自然に触れながら探索活動を中心とした戸外遊びを通し、五感を使っての健やかに伸び伸び育つ保育を実践しています。

3)子どもたちと地域とのかかわりを大切にしています
 コロナ禍の中でも子どもたちが地域とかわることを絶やさず、大切にしてきました。七夕の笹を分けてもらったり、ハロウィンでは子どもたちがお菓子をいただき、近所の商店を訪ねました。近隣園や系列園の子どもたちとも遊ぶ機会を持っています。併設の学童クラブでの体操教室に参加したり、利用する小学生と交流する多くの機会があります。また、防災に強い街づくりのために園として地域のネットワークの一翼を担うなど、地域活動に参加し、かかわりを深めていくことを大事にしています。

4)職員のチーム力を向上させる取組に期待します
 職員のチーム力を向上させていくことが目下の最大の課題だと考えています。一人ひとりの職員が自分が担当する業務だけでなく、他の職員の行動や全体の動きにも気づ

き、園全体のために自ら行動できるようなチームをめざしています。そのために「チームビルディング」の研修を実施し、言葉を尽して、自分の伝えたいことを仲間に理解してもらうところから学びあっています。園の一員としての当事者意識を全職員が共有できれば、様々な困難な課題の解決にも大きな力を生み出すと思われます。今後の園の取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価は令和2年に受審し、今回は2回目の受審となりました。

今回初めて第三者評価を経験する職員もいましたが、経験者や保育年数を考慮し、いくつかのチームに分けて自己評価に取り組みました。保育への取り組みや園の運営に対して個々に読み込み、チームで意見をまとめることで、課題や改善点などが再確認できました。

今回の受審結果で自分たちが大切にしてきた「丁寧な保育」を評価していただいたことは非常に嬉しいことであり、「職員のチーム力の向上」については更なるステップアップができるよう努めて参ります。そして職員全体で園の目標としている姿を理解し、更なる保育の質の向上へとつなげていきたいと思えます。

最後になりましたが、保護者の皆様方にアンケートのご協力をいただきありがとうございました。そして、株式会社フィールズ様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

グローバルキッズ南万騎が原園
園長 塚本 志保

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり